



版木「源語梯」(中巻三十五丁・部分、奈良大学所蔵、N0108)〔左上・右下〕  
三代歌川豊国画「美人画」(複製・部分、奈良大学所蔵) 摺見本(2535365)〔左下〕/ 版木(2535532)〔右上〕

開催日時

2009.

2/16 月 ~ 3/6 金

時間

9:30 ~ 17:00

※土・日・祝祭日は休室。但し2月28日(土)・3月1日(日)は開室

立命館大学アート・リサーチセンター1F展示室 | 入場無料

主催：文部科学省グローバル COE プログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)  
立命館大学アート・リサーチセンター

企画：日本文化研究班「日本版画・版本の美」プロジェクト

協力：奈良大学博物館、奈良大学図書館、竹苞書楼、藤井文政堂、佐藤木版画工房

お問い合わせ：立命館大学アート・リサーチセンター ( <http://www.arc.ritsume.ac.jp> )  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 tel 075-466-3411

R  
RITSUMEI  
OH-JAC

近世  
版木展



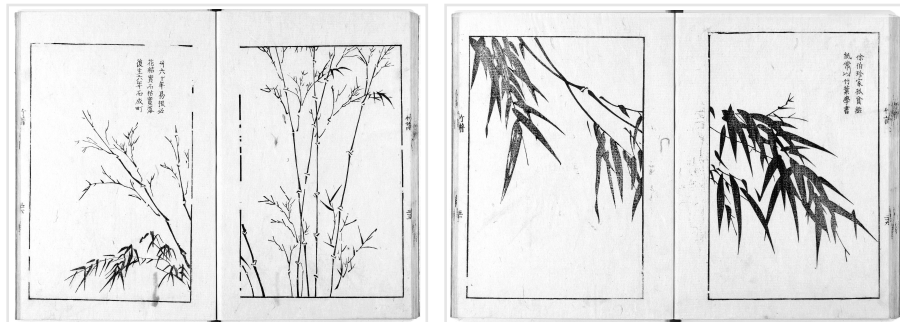
# 近世 版木展

## ●主な展示作品●

狂詩『太平楽府』畠中観斎 / 著 (明和6年〈1769〉)  
読本『加之久全伝香簾草』梅暮里谷峨 / 著 (文化8年〈1811〉)  
摺看板『奇文欣賞』大槻磐溪 / 著 (明治元年〈1868〉)  
(以上、奈良大学所蔵)

絵本『絵本若草山』西川祐信 / 画 (延享2年〈1745〉)  
(藤井文政堂所蔵、奈良大学寄託)

出版記録『竹苞楼大秘録』『竹苞楼秘録』『蔵板記』  
(いずれも竹苞書楼所蔵)  
など



画譜『賞奇軒墨竹譜』池大雅 / 画 (宝暦10年〈1760〉刊) [上] 版木 (奈良大学所蔵 T0785) [下] 版木 (個人所蔵)

文部科学省グローバル COE プログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ」拠点 (立命館大学)・日本文化研究班では、版木資料の情報共有化をめざし、奈良大学が所蔵する版木約4000点のデジタル・アーカイブ構築を進めています (奈良大学文学部永井一彰教授との共同研究)。近日それらの公開が始まるのを機に、「版木」をメイン・テーマにした展覧会を企画致しました。

版木は、誰もが版木の背後にその存在を意識してきたにもかかわらず、その扱いづらさから、従来十分に活用されてこなかった貴重な学術資料です。また現代、近世商業出版に関わる版木の彫摺技術は失われつつあり、版木はすでに伝統工芸品の域に達しているともいえるでしょう。それらの技術を解明することも、私たちに課された重要な課題のひとつです。

本展覧会では上述の観点から、「版木とはどのようなものか」を紹介しつつ、「版木から何が分かるのか」を問うてみたいと思います。そこでは一次資料をふんだんに紹介しつつ、デジタル画像による版木閲覧システムなどを展示することにより、デジタル・ヒューマニティーズの成果も併せて提示します。

## ギャラリートーク的講演会「板木は語る(続)」

2009年3月4日(水) 16:20 ~ 17:50 \*聴講無料

講師：奈良大学文学部教授 永井一彰氏

会場：立命館大学アート・リサーチセンター多目的ルーム



読本『出雲物語』紀美麻呂 / 著、森川保之 / 画 (文政13年〈1830〉刊)  
[上] 版木 (奈良大学所蔵 276714-3) [下] 薄墨色版 (奈良大学所蔵 276714-3)



- JR・近鉄京都駅、JR円町駅 から  
市バス 50/快速 205「立命館大学前(終点)」下車  
市バス 205「衣笠駅前」下車、徒歩 10分  
JRバス「立命館大学前」下車
- 阪急電車河原町駅 (四条河原町)  
市バス 12/51「立命館大学前(終点)」下車
- 京阪電車三条駅  
市バス 15/59「立命館大学前」下車
- 阪急電車西院駅  
市バス快速 202/快速 205「立命館大学前(終点)」下車  
市バス 205「衣笠駅前」下車、徒歩 10分
- 京福電車等持院駅  
徒歩 10分

※駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮下さい



お問い合わせ  
立命館大学アート・リサーチセンター (<http://www.arc.ritsumei.ac.jp>)  
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 tel 075-466-3411